

2016年10月1日から2022年4月1日までに
当院で子宮頸がんの密封小線源治療を受けた方へ

<臨床研究に関する情報公開文書>

この文書は、患者様のカルテに記載された臨床情報および検査結果（撮影した画像データを含む）を研究試料として使用させていただくことを説明するために作成されたものです。この研究は、当院の倫理審査委員会の承認を受けています。

○研究課題名

「密封小線源治療計画における不均質領域の線量計算精度の評価に関する研究」

○研究の意義・目的

子宮頸がんに対する治療として、密封小線源治療が利用されています。密封小線源治療の治療計画装置では、人の組織が水に近いと仮定し、体内を均一な水と仮定し、放射線の広がり（線量分布）を計算しています。しかし、体内には骨や空気等の水と大きく異なり、線量分布の計算が難しい領域（不均質領域）が存在しています。そのため、正確に体内の線量分布を把握するにはこれらを考慮した計算を行う必要があります。そこで、本研究では、不均質領域を考慮した計算ができる計算方法（モンテカルロシミュレーション）を用いて、治療計画装置で計算された線量分布を検証する品質管理ツールを作製し、治療計画装置の線量計算精度を評価することを目的とします。

○研究の方法

過去に当院で撮影された CT 画像上に子宮頸がん病変を有する患者様の画像データと治療計画情報を用いて、モンテカルロシミュレーション内に実際の治療状況を再現し、不均質領域を考慮した線量分布を計算します。モンテカルロシミュレーションで計算された線量分布と治療計画装置で計算された線量分布を比較し、治療計画装置の線量計算精度を検証します。

○研究の対象となる方

2016年10月1日から2022年4月1日までに、当院で子宮頸がんの密封小線源治療を行った患者様

○研究に用いる情報・試料の種類

情報：年齢、性別、疾患名

試料：CT検査の画像データ、実際に行われた治療計画

※研究に用いる全ての情報・試料は匿名化して使用する。

今回当院で使わせていただくデータは、すでにカルテ記録として残っているもので、改めて検査や手技をお願いすることはありません。また、研究に患者様個人が特定されるような情報は使用しません。研究成果は学会や論文等で発表させていただくことがありますが、個人情報公表することは一切ありません。使わせていただいたデータは研究終了後速やかに適切に破棄します。

研究への参加をご希望されない方、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく以下の連絡先へお問い合わせください。研究へ参加されない場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

2022年5月13日

《問い合わせ先》

〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2

茨城県立医療大学大学院

保健医療科学研究科 放射線技術科学専攻

研究実施者 富田 史紘

研究指導者 藤崎 達也

電話：080-6747-4780

mail：43210025@ipu.ac.jp

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野四丁目 1 番 1 号

茨城県厚生農業協同組合連合会

総合病院 土浦協同病院 放射線部

大山 勝彦

電話：029-830-3711

FAX：029-846-3721